

## 全体会で出された主なご意見と区役所の対応・考え方(令和6年度第3回)

令和6年度第3回全体会では、「青少年指導員活動の活性化に向けて」というテーマに絞り、各部会に分かれ意見交換を行っていただきました。各部会から出された主なご意見を紹介します。

番号	意見	区役所の対応・考え方		担当課
		当日の回答	補足等	
こども青少年部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年指導員(以下「青指」という。)知名度が低い。自分も青指だったが、青指が何か分かっていない時期があった。各地域や区内のイベント毎に青指を周知できるブースを作るのが良いのではないかと。</li> <li>・子ども会、PTA、青指で兼任していたり人材の取り合いになってしまったりする地域もある。子ども会、PTAと青指の違いは、自分の子どもがいるかないかというところもあり、やはり知名度をあげることが重要だと思う。</li> <li>・青指の名前が堅いので、ネーミングを変えるのがよい。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・区政会議や青指との意見交換などを通じて、「青指活動の活性化について、かつてのように活動が活発で、また担い手の候補も一定数いらっしゃり、PTAでお子さんの成長とともに青指活動にも参加することが自然な流れであった頃には、活動の魅力が自然とPRでき、青指の存在意義や役割なども浸透できていたこと」を伺っています。また、これが「コロナ禍での活動休止を経た外、人口減少や働き方の変化などによって、活動が低調になり存在意義や役割などが認知されにくくなっている」とのお声も伺っています。</li> </ul>	協働まちづくり推進課(教育・人権啓発)
安心安全・まちづくり部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青指の帽子をかぶっている人が少ないので、復活させてPRしていくのがよい。</li> <li>・一方で、その帽子をかぶることや委嘱に対する責任の重さを感じている人もいます。実行委員としてお手伝いする人はいる。</li> <li>・町会長会議や地域の会議の時に、呼びかけてPRすることが大事。</li> <li>・昔はボランティアでやっていたが、大阪市の施設を無料で利用できるなど特典をつけてPRをしてみてもどうか。</li> <li>・子ども会、PTAの流れで青指活動への働きかけをするのがよい。</li> <li>・時代に合っていないので、ボランティアの在り方を見直す時期だと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各部会でしっかり議論していただきありがとうございます。</li> <li>・時代が変わったというご意見は痛感しています。私が住む地域でも青指が不足していることは課題となっています。PTA、子ども会、青指それぞれの活動が強いところ、または3つ一緒になってようやく色々な活動ができてきているところなど非常に地域性を感じます。生野区では、単独の地域でやるイベントを2~3つの地域の青指が協力して行っている事例もありました。枠組みを変えながら活動していくという方法もあると話を聞きながら思いました。</li> <li>・ネーミングはなかなか簡単には変えられませんが、大阪市にも折を見てご意見を共有しつつ、「愛称」をつけることも素敵なアイデアだと考えています。</li> <li>・福祉部会のテーブルでは、「ボランティアをしたい若い人も一定数いる」というご意見も出ていました。そういった人がすぐに相談できる窓口を設け、周知することも1つの方法だと感じています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一方、旧来のような「お子さんの成長に連動した自然な流れ」に内包される強制的な側面に対し、今日的なものに適合させる見直しも求められています。「活性化してもっと活動したい」と思っておられる方の多い地域と、既に人材不足により「やめられるものはやめたい」と思っておられる地域があるように、地域による違いや、同じ地域の中にもさまざまな思いの方がいらっしゃるなどの現状を踏まえると、必ずしも昔のように戻すことだけが最善ではないと思っています。</li> <li>・子ども会、PTAなど、子ども達や青少年に関わる活動を行う団体との連携や協働、場合によっては活動の精選などお勧めしながら持続可能な形を探っていく方がよいのかも知れないと、区としても悩ましく思っています。</li> </ul>	
福祉部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区別青指の人数を見ていると、単身の高齢者率が高い地域が委嘱率が低い。つまり、地域のコミュニティと青指の接点が少ないことが推測される。青指と地元コミュニティとのつながりが非常に重要だと思う。</li> <li>・青指の負担が大きくなっているとのことだが、PTA等々を経てから青指になるという話も出たが、突然30~40代の子育ての人が入ってくるのは難しいと思う。そのため、ユースリーダーを掘り起こしていくのがよい。</li> <li>・ユースリーダーを発掘するには、青指になりたいと思ってもらえるきっかけをイベント時にPRし、またそれにより青指の方のモチベーション向上につなげることが大事だと思う。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・いずれにしても、港区青少年指導員連絡協議会と連携しながら、認知度を上げていく取組みを検討している外、地域の方々には青指の現状や課題、また本来の目的や業務など、お伝えしてまいりたいと思っており、また、これらを通じて、各地域での話し合いに繋がるよう支援してまいりたいと思っています。</li> <li>・なお、現時点では本市においては愛称をつけている区や地域はないようです。</li> </ul>	